

設計課題「昔ながらの洋食屋さん併用住宅」(木造 2 階建)

1. 設計条件

・昔ながらの洋食屋さんを営む店舗併用住宅を計画する。
 計画にあたっては、次の ~ に留意する事。
 店舗部分と住宅部分は出入り口を明確に分けて、1 階の屋内で行き来出来るようにする。
 敷地内の緑地スペースは積極的に緑化をすすめ、植栽を施すものとする。
 店舗入口は北側からとする。

(1)敷地

ア. 形状、道路との関係、方位等は下図の通りである。
 イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
 ウ. 建ぺい率の限度は 60%、容積率の限度は 200% である。
 エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
 オ. 電気、都市ガス、上水道及び下水道は完備している。

(2)構造及び階数

木造 2 階建とする。

(3)延べ面積

200m² 以上、240m² 以下とする。
 (ピロティ、玄関ポーチ、駐車スペース、駐輪スペース等は床面積に算入しない。)

(4)家族構成

夫婦(50 歳代)、子供 2 人(男子高校生、女子中学生)
 通勤従業員 2 名

(5)要求室

下記の所要室は、全て計画する。

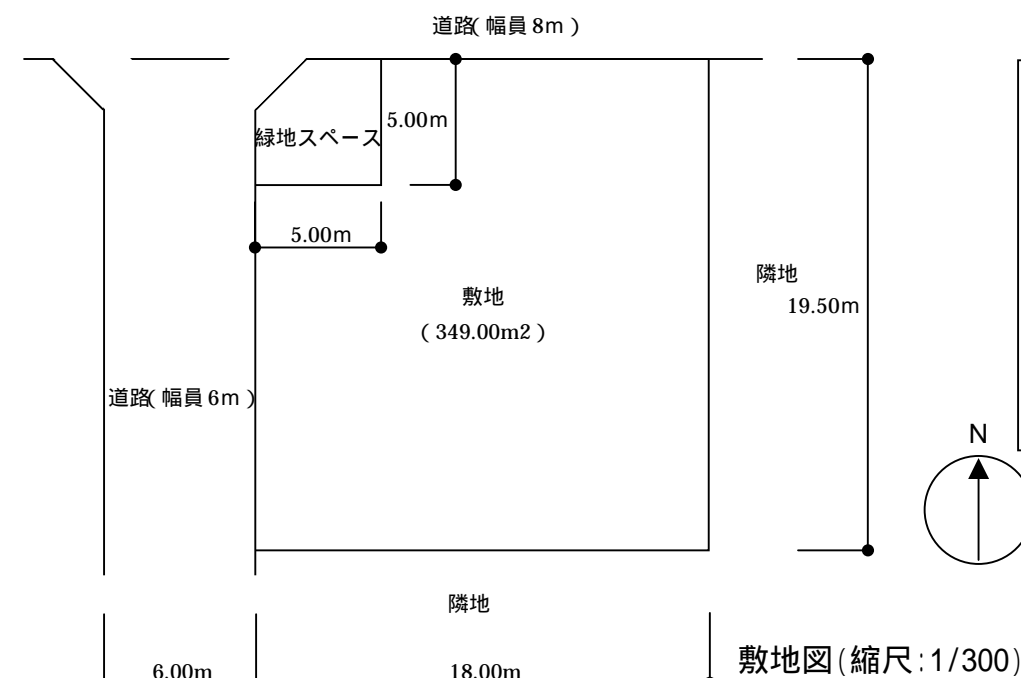
		特記事項	
店舗部分	客席	1階	ア. 36 m ² 以上とする。 イ. レジカウンターを設ける。 ウ. テーブル、イスを設ける。
	厨房	1階	ア. 19 m ² 以上とする。 イ. サービス用カウンターを設ける。
	更衣室	1階	・6 m ² 以上とし、通勤従業員の休憩室も兼ねる。
	客用便所	1階	ア. 広さは、芯々 1,365 × 1,365mm 以上とする。 イ. 便所とは別に手洗いコーナーを設ける。
住宅部分	居間・食事室	1階	・洋室 19m ² 以上とする。
	台所	1階	・洋室 7.5m ² 以上とする。
	和室	1階	ア. 8 帖以上とし、客室としても利用する。 イ. 押入を設ける。
	便所	1階	・広さは芯々 1,365 × 1,365mm 以上とする。
	浴室	1階	・3m ² 以上とする。
	洗面・脱衣室	1階	・3m ² 以上とする。
	夫婦室	2階	ア. 洋室 23 m ² 以上とし、その他に収納を設ける。 イ. 書斎コーナーを設ける。
	子供室(2室)	2階	・洋室 9 m ² 以上とし、その他に収納を設ける。
	納戸	2階	・洋室 6 m ² 以上とする。
	便所	2階	・広さは芯々 1,365 × 1,365mm 以上とする。
洗面所	2階	・コーナーでも良い。	
・廊下の幅は芯々 1,365mm 以上とする。			

(6)駐車スペース、駐輪スペース

敷地内に自家用小型乗用車(5人乗り)2 台分の屋外駐車スペース及び 4 台分の自家用屋外駐輪スペースを設ける。また、客用として屋外駐輪スペース 10 台分を設け、客用の駐車スペースは隣地にかかりのものとし、敷地内には計画しないものとする。

(7)その他

・緑地スペースは図示の通りとし、建物を計画しないものとする。



2. 建築物

a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は枠外にはみ出して記入してもよい。
 b. 図面は黒鉛筆仕上げとする。(定規を用いなくてもよい。)
 c. 記入寸法の単位は、mm とする。なお、答案用紙の 1 目盛りは 4.55mm (矩計図にあつては、10mm) である。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 1階平面図兼配置図に門、塀、植栽、駐車スペース、駐輪スペース等を記入する。 ウ. 室名を記入する。
(2) 2階平面図 (1/100)	エ. 店舗部分には次のものを記入する。 ・客席にイス、テーブル、レジカウンター ・厨房に流し、調理台、ガス台、冷蔵庫 ・更衣室にロッカー ・客用便所に便器 オ. 台所設備機器(流し台、調理台、ガス台、冷蔵庫等)、浴槽、洗面器、便器、洗濯機を記入する。 カ. 「通し柱」を印で囲み、「耐力壁」に印を付ける。 (注)「耐力壁」とは筋カイ等を設けた構造上有効な壁をいう。 キ. 2階平面図に、1階屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 ク. 矩計図の切断位置を記入する。
(3) 立面図 (1/100)	・北側立面図とする。
(4) 矩計図 (1/20)	ア. 切断位置は、住宅部分の開口部を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は柱芯から 1,000mm 以上とする。 ウ. 矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってよいものとする。 エ. 主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、ひさしの出、開口部の内法、屋根の勾配)を記入する。 オ. 主要部材(基礎、土台、柱、大引き、1階根太、胴差し、2階床ばり、2階根太、けた、小屋ばり、もや、たるき)の名称・断面寸法を記入する。 カ. 床下換気口の位置・名称を記入する。 キ. アンカーボルト、羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 ク. 外気に接している次の部分の断熱措置を記入する。 ・屋根(小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井) ・外壁 ・1階床 ・その他必要と思われる部分 ケ. 室名及び内外の主要な部分(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上げ材料名を記入する。
(5) 面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を答案用紙の面積表に記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 数値は小数点以下第 2 位までとし、第 3 位以下は切り捨てる。

3. その他

次の試験については、上記のほか、下記による。

北海道の試験

(1) 設計条件

北海道の気象条件に合うような防寒構造とする。

(2) 要求図書の特記事項

ア. 平面図に、暖房設備の方式又は機器を記入する。

イ. 矩計図に 想定した凍結深度 基礎の凍上防止措置 壁、天井、床等の断熱、防湿等の防寒措置を記入する。

今回はどちらかの課題を選択して、チャレンジしてください。
 2 課題ともチャレンジして添削を受ける場合は、郵便小為替 4,000 円分を同封の上、添削図面を送付下さい。
 図面には必ず、住所・氏名・メールアドレスを記載すること。
 添削締切 5 月 17 日消印有効です。速達で送らなくても結構です。
 4 つ折角 2 号封筒程度でお送りください。
 送付先:
 学科製図.com 出版局 〒657-0024 神戸市灘区楠丘町 2-5-20
 振込先
 郵便振替 00990-9-176259 学科製図.com 出版局